

身体的拘束ゼロを目指す 大西病院の宣言

大西病院は、患者さん一人ひとりが「自分らしく生きること」を大切にする医療を目指しています。そのために私たちは、国が示す“**身体拘束を最小限にすること**”“**患者さんの意思を尊重する医療を進めること**”という方針を受け、**身体的拘束ゼロを目指す取り組みを進めています。**

★ 当院の取り組みと成果

当院では、「**身体的拘束最小化・認知症ケア委員会**」「**ACP(アドバンス・ケア・プランニング)委員会**」の二つの委員会が先頭に立ち、さらにリスクマネージメントの観点から「**医療安全管理委員会**」とも連携を密にして、全職種で身体的拘束率の改善に取り組んでいます。

★ 私たちが大切にしていること

●患者さんの尊厳を守る医療

身体的拘束は、どうしても避けられない場合の“最後の行為”であり、日常的に行うものではありません。

●ACP(人生会議)による意思の尊重

患者さんやご家族と対話を重ね、「どのように過ごしたいか」「何を大切にしたいか」を共有し、その思いに沿った医療を提供します。

●安全と安心を両立するケア

環境調整やコミュニケーションの工夫、非薬物的なケアを積極的に取り入れ、拘束に頼らない医療を実現します。

★ 地域の皆さまとともに

身体的拘束ゼロは、病院だけで達成できるものではありません。地域の医療・介護機関とも連携し、「**尊厳を大切にするケア文化**」を広げていくことが、私たちの使命です。

大西病院は、これからも患者さんにご家族、そして地域の皆さまとともに、**安心して過ごせる医療環境づくり**に取り組めます。